

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

公表:2020年 3月29日

事業所名 こども発達支援 ハート&ハート

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	0%	活動内容によってスペースの使い方を工夫して活動しています。
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%	0%	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	100%	0%	0%	バリアフリーになっております。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	0%	PDCAサイクルは実施しています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	0%	保護者の方の意向などを組み取り業務に活かしています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	0%	評価については、会議を行いその結果をホームページで公表しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	100%	0%	0%	検討していきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	0%	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	0%	子どもや保護者の方のニーズを汲み取り、課題や目標の設定を行い、計画を立てています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	0%	使用しています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	0%	行っています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	0%	集団療育、個別療育、季節に合った活動を行っています。1人1人に合わせた日々の活動は、固定化されないように工夫しています。1人1人の目標に沿った内容を設定しています。その日の状況により、興味のある部分を入れたり、できる状況に応じて行っています。外出活動も色々と考え取り入れています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%	0%	0%	一人一人に合わせた課題を設定し、支援を行っています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	0%	組み合わせで作成しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	0%	毎朝、ミーティングを行い職員間で情報共有を行い、支援を行っています。
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	0%	気付いた点等は、各自報告を行い、翌朝のミーティングで情報共有を行っています。	
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	0%	日々の記録を具体的に記入することで、より良い支援に繋がっています。	

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	0%	会議を通して支援計画の見直しをその都度行っています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	100%	0%	0%	行っています。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	0%	基本的に児発管が出席しております。
関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%	0%	0%	行っています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	40%	20%	40%	現在、対象児童がいないため行っていませんが、もし今後、そのような場合があれば、連携を図っていきます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	100%	0%	0%	関係機関と連携を図りながら、情報共有を行っています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	0%	60%	40%	現在、対象児童がいません。今後、もし移行に向けての支援が必要な場合は、情報提供を行っていきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	80%	20%	0%	会議や研修等を通して連携を図っています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0%	20%	80%	なかなか無いので、地域交流などを通して機会を設けていきたいです。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	100%	0%	0%	参加しています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	0%	日々の連絡帳と口頭での説明をしています。面談を通して説明をしています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	100%	0%	0%	日々の様子を把握し、助言しています
	保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	0%
31		保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	0%	連絡帳や送迎の時などに相談に乗っています。また、面談も行っています。
32		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0%	0%	100%	交流の場が設けられるように努力します。
33		子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	0%	その都度、柔軟に対応しています。
34		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	0%	定期的にホームページを更新しており、日頃の活動の様子も載せています。
35		個人情報に十分注意している	100%	0%	0%	注意しています。

	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	0%	一人一人に合わせた情報伝達を工夫しています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0%	0%	100%	地域の行事には参加しています。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	80%	20%	0%	お便りを通して、ご案内しております。また、ポスターの掲示も行ってあります。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	80%	20%	0%	定期的に消防署の方に来ていただいて、避難訓練や指導を受けています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	0%	対応しています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	0%	0%	100%	契約時に、十分に説明しています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	60%	40%	0%	保護者を通して確認し、対応しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	80%	0%	20%	共有しています。